



桐生市小学校音楽学習発表会 11月10日(木)



＜7日（月）に、体育館で他の学年の児童に発表した様子＞

当日は、市内すべての学校が午前の部、午後の部に分かれ、市民文化会館シルクホールで音楽学習発表会を行いました。

本校4年生34名も午前の部に出場し、合唱「僕たちよ、風になれ」と合奏「ブラジル」を発表してきました。シルクホールで歌を歌ったり、演奏したりできることは、音楽を専門にする人以外では、一生のうちでもほんの1度や2度あるかないかだと思います。学校代表として合唱・合奏を発表するのは、6年間で1度だけの晴れ舞台です。

4年生児童は、運動会が終わって早い時期から、朝や休み時間等を使って、音楽担当の亀井教諭の下、真面目に練習に励みました。その成果もあり、当日ステージに立つ児童の顔は、自信に溢れていました。そして、合唱の声、合奏の音色いずれも素晴らしいもので、聴いている人たちに感動をよぶ出来栄でした。4年生の皆さんに拍手！！



市内特別支援学級合同宿泊学習～あおぞら学級参加

11月8日（火）・9日（水）に、梅田にある青少年野外活動センターで、市内特別支援学級の合同宿泊学習が開かれました。当日は、寒い日でしたが、本校でも7名の児童が元気に参加しました。

初日は、みんなで楽しく協力し合って「すいとん」を作り、夕飯に食べました。あおぞら学級の児童は、学校で事前学習していったこともあり、上手に作ることができました。夜は、キャンドルファイヤー・レクリエーションで、市内のお友達と交流を図りました。みんな楽しそうに大盛り上がり。最後にバナナを食べて終了となりました。

翌日は、湖畔5kmのハイキングでした。上級生が下級生の面倒を見ながら、一人一人の頑張りを、優しさが見られた梅田湖1周でした。



児童集会～保健委員会の発表～

14日（月）、保健委員会の児童が児童集会の中で発表してくれました。今回は「目を大切に」ということで、授業中の姿勢や家庭でのゲーム等の使い方に気を付けて、目を大切にしようとして寸劇で全校児童に訴えました。また、その後、全員参加の〇×クイズを通して、神明小の児童が視力に関してどのような状況かを発表しました。

平成26年度の文部科学省学校保健統計調査によると、学校健診の児童生徒の視力検査では、「裸眼視力1.0未満の者」は、小学生30.2%、中学生53%、高校生62.9%となっています。全体的に右肩上がりに増えているということです。近視の原因は、遺伝、環境要因等が挙げられますが、幼少時からの携帯タイプのゲームやタブレット類の使用、悪い姿勢での読書・テレビ視聴が、視力低下の原因として大きな影響を与えていると考えられます。

日頃の生活習慣を見直し、視力低下予防に気を付けていってほしいと思います。



桐生みどい地区

学校警察連絡協議会善行児童生徒表彰

14日（月）市民文化会館で行われた表彰式で、6年生の荻野佳菜さんが表彰されました。

この表彰式は、友達の模範となる行動等について各学校の代表児童が表彰されるもので、荻野さんは児童会活動等で中心となって活躍したことが認められての受賞でした。